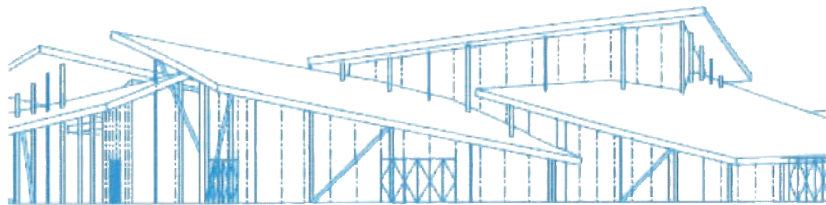


Junko
Fukutake
Hall



岡山シンフォニーホール Presents

岡山大学 J ホール
レインボーコンサート
vol.110

©Samon



堀米 ゆず子
パヴェ
ゴム
ツル
イ
ア
コ
フ
デュオ・リサイタル

I Premium

2026.

11 / 6 (金)

開演 14:00
開場 13:30

入場料 ※当日現金払い

2,500 円
予約不要 / 全席自由

©Jean-Baptiste Millot



会場

Junko Fukutake Hall

岡山大学鹿田キャンパス内
岡山市北区鹿田町 2-5-1

※ホールには専用の駐車場がございません。
公共交通機関をご利用ください。
※ホール内の飲食は一切できません。
※未就学児入場不可
※定数に達した場合は入場
いただけない場合がございます。

PROGRAM

ラヴェル：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ

イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 ト短調 Op.27-1

アンドレイ・ゴルヴィン：無伴奏チェロのためのエレジー

コダーイ：ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 op.7

※曲目は変更する場合がございます



LINE公式アカウントで
公演情報配信中！
友だち登録をお願いします

お問い合わせ

岡山シンフォニーホール事業部 TEL:086-224-1950

【主催】国立大学法人 岡山大学 公益財団法人 岡山文化芸術創造



助成：文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業（地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

プロフィール



©Samon

堀米ゆず子（ヴァイオリン）

1980年に日本人として初めてエリザベート王妃国際音楽コンクールで優勝を飾って以来、国際的に活動を展開。これまでに、ベルリンフィル、ロンドン響、シカゴ響、ボストン響、アバド、小澤征爾、ラトルなど世界一流のオーケストラ、指揮者との共演を重ねる。

世界中の音楽祭に数多く招かれ、アメリカのマールボロ音楽祭、クレーメル主宰するロッケンハウス音楽祭、ルガーノ・アルゲリッチ音楽祭などがある。室内楽においては、R・ゼルキン、アルゲリッチ、クレーメル、マイスキー、今井信子、メネセス他、トップアーティスト達と共演。

2011年東日本大震災に対し、微力ながら手助けになる事を願い、ブリュッセルで「復興コンサート」を震災翌年から10年間行なった。

後進の指導にも力を注ぎ、2024年までブリュッセル王立音楽院、2025年春までマーストリヒト音楽院教授を務めた。2024年からは、東京大学先端科学技術研究センターと高野山真言宗 総本山金剛峯寺で行っている「高野山会議」のコンサートシリーズに出演。

多くの国際コンクールの審査委員にも招かれており、2016年第6回より仙台国際音楽コンクールヴァイオリン部門審査委員長。

これまで久保田良作氏、江藤俊哉氏に師事。1980年桐朋学園大学卒業。



パヴェル・ゴムツィアコフ（チェロ）

「極めて印象深いデビューだった。紛れもなくこの若き演奏家には輝かしいキャリアが待ち受けている。」（シカゴ・クラシカル・レビュー ローレンス・A・ジョンソン）

パヴェル・ゴムツィアコフは世界的ピアニストのマリア・ジョアン・ピリスにその才能を見出され、ピリスと世界各地でデュオリサイタルを行い、一躍注目を浴びた。ドイツ・グラモフォンに録音したアルバムは2009年にリリースされ、グラミー賞にノミネートされた。

2010年4月には、トレヴァー・ピノック指揮シカゴ交響楽団との共演でソリストとして華々しいアメリカ・デビューを果たし、その後、フィンランド室内管、トゥールーズ・キャピトル国立管、ロシア・ナショナル管、シアトル響、新日本フィル、関西フィルなどと共演、ゲルギエフの招きによるサンクトペテルブルクの白夜祭でも演奏した。

室内楽演奏においても多くの演奏家から共演者として高く評価されており、マリア・ジョアン・ピリスのほか、オーギュスタン・デュメイ、アンドレイ・コロベニコフ等と定期的に演奏している。